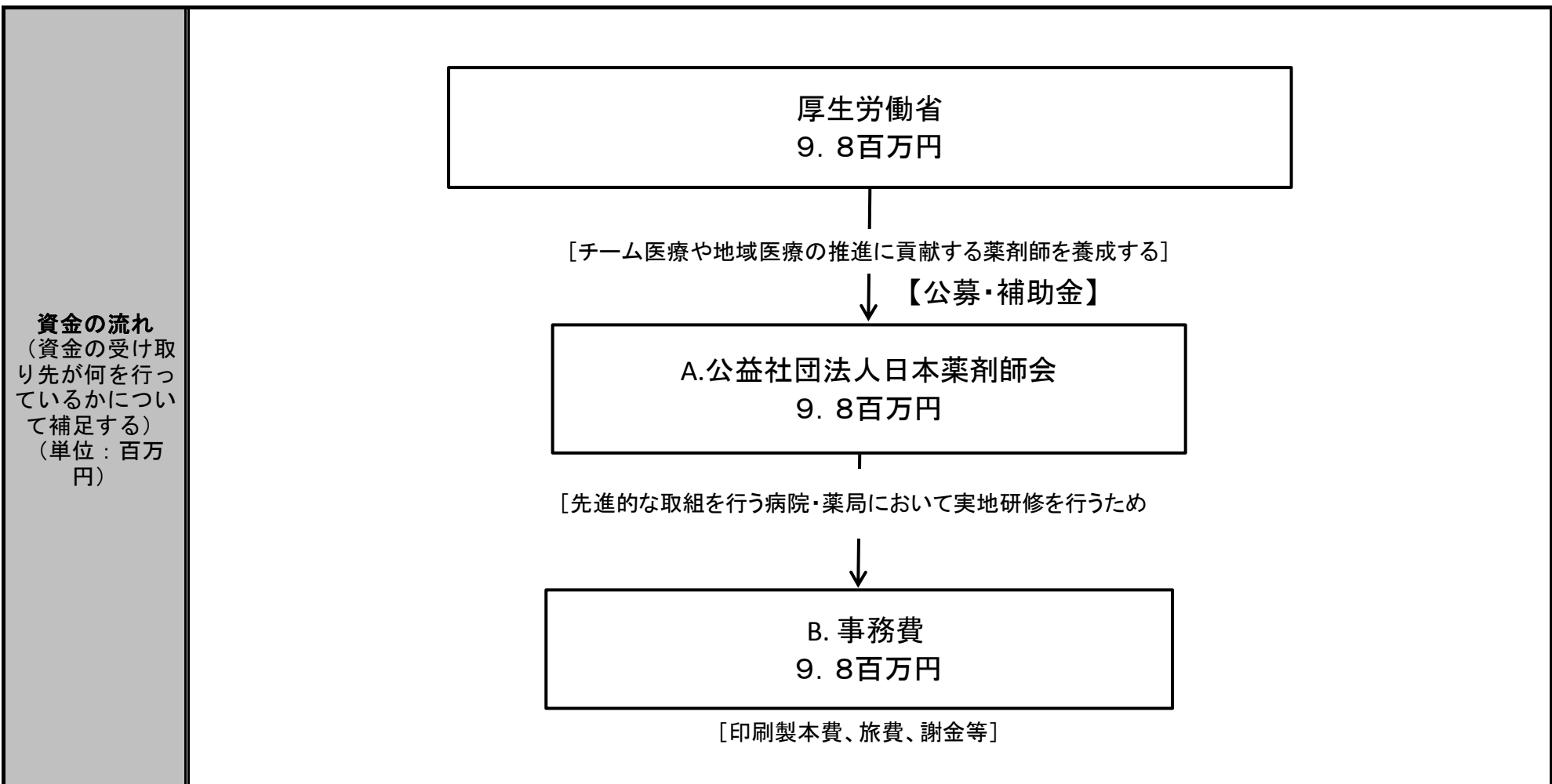


平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	薬剤師生涯教育推進事業			担当部局	医薬食品局		作成責任者			
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		課長 鎌田 光明			
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-6-3 医薬品の適正使用を推進すること					
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	・平成21年5月21日厚生労働省発医政0521001号「医療関係者養成確保対策費等補助金、医療関係者研修費等補助金及び臨床研修費等補助金の国庫補助について」					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療技術の高度化・専門分化が進展する中、より良い医療を患者に提供していくために、病院や地域におけるチーム医療に貢献する薬剤師を養成することを目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	病院や薬局等に勤務している薬剤師を対象として、病院や地域におけるチーム医療に貢献するために必要な知識及び技能を習得させるため、医療現場等において医師や看護師等と協働した高度な医療に関する実務研修等を行う。 【補助率:10/10】									
実施方法	補助									
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	18	15	15	15	15			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		18	15	15	15	15			
	執行額		18	13	10					
執行率(%)		100%	87%	67%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	24時間調剤可能な薬局の増加		基準調剤加算(1及び2)の届出件数 ※基準調剤加算1…近隣の薬局と連携して24時間調剤等の体制を整備等 ※基準調剤加算2…自局単独で24時間調剤等の体制整備、在宅実績の要件化等		成果実績	件	28,519	30,209	29,691	
					目標値	件	27,995	28,159	30,209	29,691
					達成度	%	102	106	98	
活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	本事業への参加人数				活動実績	人	477	357	219	
					当初見込み	人	400	360	220	219
単位当たりコスト	算出根拠				単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X:事業の執行額(千円)/Y:本事業への参加人数(人)				単位当たりコスト	千円	38	37	45	-
					計算式	X/Y	17,907/477	13,232/357	9,750/219	-
平成27・28年度予算内 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	医療関係者研修費等補助金	15	15							
	計	15	15							

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業は、国民の保健衛生の維持向上に寄与するものであることから、国民や社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	チーム医療の推進に貢献する薬剤師を養成することを目的としており、国が実施すべき事業といえる。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	チーム医療の推進に貢献する薬剤師を養成することを目的としており、優先度の高い事業といえる	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	支出先は、公募により選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	本事業に必要なものに限定されており、単位あたりのコストは妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費用は、事業実施に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	支出先において、研修資材の提供方法の見直し(電子媒体での配布)などを行ったことによりコストの削減ができたため。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	研修資材の提供方法の見直し(電子媒体での配布)など、コスト削減に向けた工夫を行った。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	平成26年度は前年と比較してわずかに下回ったため、平成27年度以降は引き続き成果目標の達成に努力していく。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績はおおむね見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業で作成された研修資材等は研修に参加できなかった方にも配布されており、広く活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	当該事業は、薬剤師向けの研修事業で、類似事業は看護師向けの研修事業となっており適切に役割分担されている。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省・医政局		医政局看護職員資質向上推進事業		
点検・改善結果	点検結果	研修会では、講義、手技研修、症例検討を行い、受講者からの全体協議やアンケート結果からも評価を得た。なお、25年度と比較して研修参加者が減少しているのは、25年度においてはすべての薬剤師を対象とする研修であったが、26年度においては地方で研修を行う指導者を養成するための研修であったためである。なお、本研修に参加した者は、各々の地方において薬剤師に対する研修を実施している。さらに、本事業の研修に参加できなかった方向けにDVD教材を作成、配布し資質向上を図った。			
	改善の方向性	チーム医療の推進に必要な薬剤師の資質向上を図る研修について、研修内容の精査、メディア化するなど引き続き効果的な事業となるよう適切な予算措置に努める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	点検結果も妥当であり、また、医療機関や地域におけるチーム医療において対応・活躍できる薬剤師の養成に必要な経費であることから、引き続き必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を図ること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	856	平成24年度	743
平成25年度	195	平成26年度	209		



A.公益財団法人日本薬剤師会			B.事務費		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	先進的な取組を行う病院・薬局において実地研修を行うための企画立案・調整	9.8	印刷製本費	研修等に必要書類の印刷	5
			旅費	講師等への旅費	4.1
			謝金	講師等への謝金	0.4
			その他	会議室借料、弁当代等	0.3
			通信運搬費	郵送料	0
計		9.8	計		9.8

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人日本薬剤師会	先進的な取組を行う病院・薬局において実地研修を行うための企画立案・調整	9.8	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ヴァンクラフト	研修教材制作	2.2	随意契約	-
2	株式会社アイ・フォスター	研修教材制作	1.8	随意契約	-
3	株式会社ケアネット	研修教材制作	0.6	随意契約	-
4	講師A	研修教材作成謝金	0.3	-	-
5	個人A	委員会の出席等に対する旅費の支給	0.3	-	-
6	興和印刷株式会社	研修教材製作	0.3	随意契約	-
7	個人B	委員会の出席等に対する旅費の支給	0.3	-	-
8	松本薬剤師会	会議費	0.2	随意契約	-
9	個人C	委員会の出席等に対する旅費の支給	0.2	-	-
10	沖縄県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.1	-	-